

◎ しらかぶ

議会広報

平成28年5月発行



春を告げるフクジュソウ

No.
145

- 第1回 定例会 平成27年度各会計補正予算・条例改正など
平成28年度新年度予算
〈一般質問〉
路線バスのルート変更を / 医療・介護体制の確立を
新しい肉牛振興策は / JA占冠出張所の閉鎖
防災意識と対策 / 村有住宅の環境整備を
- 村政執行方針・教育行政執行方針
- 予算特別委員会
- 議会の主なうごき

平成28年度予算総額 33億2920万円を議決

(平成27年度比3.35%増)

平成28年度 各会計別予算

【万単位以下切り捨て】

会 計 別		予 算 額	前 年 度 比
一 般 会 計		26億6160万円	7.71%
特 別 会 計	国民健康保険	1 億5310万円	4.22%
	村 立 診 療 所	9000万円	0.00%
	簡 易 水 道	1 億7800万円	▲28.80%
	公 共 下 水 道	9960万円	▲11.70%
	介 護 保 険	1 億890万円	▲1.98%
	後 期 高 齢 者	1620万円	▲0.61%
	歯 科 診 療 所	2180万円	▲6.44%
予 算 総 額		33億2920万円	3.35%

平成28年第1回定例会は、3月10日から17日までの8日間の会期で開催され、一般質問、村政・教育行政執行方針の説明・質疑を行いました。また、条例の制定・改正や、平成27年度各会計補正予算等の審議が行われ、原案どおり可決しました。

平成28年度各会計予算については予算特別委員会に付託し、16日に審査・可決されました。

(傍聴 10日3人 11日0人 14日0人 17日0人)

条例の一部改正

〈専決処分の承認〉

・ 占冠村税条例の一部改正

マイナンバー制度に係る法律の施行等に伴う文言の整理によるものです。

条例等の制定・改正

・ 占冠村情報公開・個人情報保護審査会設置条例の制定

国の行政不服審査法の全部改正に伴い、条例を制定するものです。

・ 占冠村むらびと条例の制定

住民と行政の役割を分担し、むらづくりを進めるため条例を制定するものです。

問 ① 条例の制定によってさらに情報公開が進むということ

か。② 住民投票は1/5以上の連名となつてゐるがその根拠。

③ 住民投票の実施に関する条例はいつ頃できるのか。(山本議員)

佐々木企画担当係長

① 分かりやすいものを作つて住民に提供していきたい。② 占冠村の18歳以上の権利を持つ方は約110

0人で、その1/5は約20人弱で妥当であると判断しました。③ 6月から検討を進め、年度内には制定したいと思っています。

・ 占冠村情報公開条例の一部改正

国の行政不服審査法の全部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

問 施行日はいつ頃になるのか。(木村議員)

田中課長 国から通知が来たら施行します。

その他の以下について、審議され全会一致で可決されました。

・ 占冠村過疎地域自立促進市町村計画の策定

・ 占冠村保健事業検診受診料徴収条例の全部改正

・ 占冠村個人情報保護条例の一部改正

・ 占冠村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正

・ 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

・ 占冠村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

村びと条例の制定

の一部改正

・ 占冠村税条例の一部改正

・ 固定資産評価審査委員会条例の一部改正

・ 占冠村手数料条例の一部改正

・ 占冠村介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正

・ 占冠村介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスの効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正

・ 占冠村物産館設置条例の一部改正

改正

平成27年度補正予算

質疑

【一般会計】

(歳入)

問 地方交付税の減額が復活した経緯について。(木村議員)

田中総務課長 交付税算定で減額された175万6千円が今回復活して交付されるものです。

問 道路橋梁費補助金(社会資

本整備総合交付金)と平成22年計画の内容について。(木村議員)

岩谷産業建設課長 宮下橋の補修工事に係る補助金で、計画は長寿命化計画です。

問 環境保全型農業直接支払交付金事業国庫補助金の内容は。(木村議員)

岩谷課長 本村では有機農業に取り組んでいる農家1戸が対象になっています。

問 ふるさと納税の状況について。(山本議員)

佐々木企画担当係長 9月から星野リゾート・トマムのスキーシーズン券を追加しました。3月9日現在541件、1424万円となっています。

問 自治体情報システムネットワーク強化対策委託料の内容について。(山本議員)

佐々木係長 情報の持ち出しを不可とする設定の徹底と、1台の端末から分離して、より強固な情報漏えい対策を図るという内容です。

問 ニニウキャンプ場水源等整

備工事の減額について。(山本議員)

岩谷課長 水源を探る調査をしました。水質が悪く水質基準に合うような機種選定には至らなかった。ので着手できません。

【特別会計】

問

国保特別会計で介護給付金分現年課税分減額の理由は。(木村議員)

小尾保健福祉課長 実績により減額になりました。

問 国保特別会計で一般被保険者療養給付費増額の理由は。(長谷川議員)

小尾課長 冬場に医療費が伸び

る傾向にあるので、試算して増額計上しました。

問 簡易水道特別会計で消費税及び地方消費税還付金増額の理由と住民への還付はあるか。(木村議員)

岩谷課長 工事請負に対して地方消費税を払っている。その還付金で、住民への還付はありません。

問 介護特別会計で第一号被保険者保険料軽減分繰入金減額の理由は。(木村議員)

小尾課長 事業費の確定により当初の見積から対象者が減少したことにあります。

平成27年度 補正予算 ～ 第1回定例会 ～

一般会計 (第7号)	230万円増
総額25億6550万円⇒25億6780万円	
・自治体情報システムネットワーク強化対策委託料の増など	
国民健康保険 (第4号)	290万円増
総額1億6990万円⇒1億7280万円	
・療養給付費負担金の増など	
簡易水道 (第3号)	300万円増
総額2億4720万円⇒2億5020万円	
・占冠村簡易水道施設整備基金の増など	
公共下水道 (第3号)	1090万円減
総額1億1520万円⇒1億430万円	
・個別排水処理施設設置工事費の減など	
介護保険 (第3号)	40万円増
総額1億1360万円⇒1億1400万円	
・居宅介護サービス等給付費の増など	

村長の行政報告

○占冠村新規就農 支援協議会

現在2人が就農に向け農家実習を行っています。その内1人は黒毛和種繁殖経営を目指しており、もう1人は農業継承希望者で親元での就農を予定しています。



JAふらの占冠出張所

○ふらの農業協同組合 中期計画

この計画は平成28年度から平成30年度の3か年計画と、平成32年までの方向性を示しているもので、本村の関係では平成31年度に金融共済部を閉鎖しATM化を行い、生産資材部門を閉鎖する計画案になっています。村としては、農業施策に大きな影響があるため、2月1日に組

合長を訪問し、占冠出張所存続要望書を提出してきました。

○地方創生

次の4本の基本戦略を立てました。①地方における安定した雇用を創出する、②地方への新しい人の流れをつくる、③若い世代の結婚・出産・子育て、④時代に合った地域づくり。
示された施策を実行に移し、将来にわたって活力ある村づくりを進めていきます。

○調停

占冠村は株式会社星野リゾート・トマムを相手方とし、去る1月13日に札幌地方裁判所に調停の申し立てを行いました。2月26日には、札幌地方裁判所で第1回の調停が行われ、裁判官が双方に聞き取りを行い、次回続行することが確認されました。

○教育委員会の所掌事務

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、首長と教育行政との連携が求められているなか、社会教育並びに学校教育でそれぞれ成果があり、文部科学省の表彰を受けた旨報告がありました。

●道内所管 事務調査報告

総務産業常任委員会

(11月30日～12月1日調査)

①「道の駅なかさつない」の取り組み【中札内町】

中札内産の農産物や加工品を生かした品揃えを充実し、地域の魅力をアピールする拠点とするため、村の農業者が生産した豆類やジャガイモ、村内で盛んな卵や鶏肉などを販売する店舗を開設しています。リピーターが多いのが特徴で、経営内容として道の駅の管理・運営は指定管理で、商工会を中心とした運営がされていることも特色として挙げられます。



②「住宅使用料収納率100%達成」の取り組み【美幌町】

職員は収納チェックを欠かしません。未納を確認するとただちに電話連絡を行い、支払いを確認します。督促状は手書きのメッセージを記入して納付を促したり、給料日や年金支払日前には、電話や戸別訪問による集中的な督促を行っています。

こうした地道な収納対策により、平成25年度・26年度はともに100%を達成しています。個々の事例に対し丁寧な対応と分析、そして庁内の連携が何より重要であると感じました。

路線バスのルート変更を



五十嵐正雄議員

1 住民のニーズにあった 路線バスを

問 高齢者や障がい者、持病を患い診療所に通院している方々が増えています。また、社会教育や文化スポーツ活動に参加する高齢者が増えてきています。

これらの人たちの足の確保は、重要な住民サービスのひとつです。高齢者にやさしい村づくりを進めるために次の2か所、①上下線で占冠診療所、とまゝる、中央団地を経由する路線、②占冠市街地から村道（旧国道）を経由して静岡へ、この路線変更を図るべきと考えます。

住民の立場に立った施策が求められています。村長の考えを伺います。

中村村長 路線バスには路線バスの使命があります。それを補完するためにむらびと交通、巡回バスを走らせています。

しかし、トマム路線を含めた村の交通体系全体の見直しを図らなければならぬ時期になっているかと思っています。

1～2年で解決するものではありませんが、全体の交通を検討していきます。

問 認識の差があります。高齢者や診療所やいろいろな活動に参加している人たちにとっては、何とかして欲しいという状況です。再度伺います。

中村村長 時間はかかりますが、村の交通体系の中で検討していきます。

また、病院へ通院される方の実態を把握して対応していきます。

2 農協占冠出張所 金融部門廃止

問 廃止問題について、村としてどのように取り組んできたのか伺います。

中村村長 昨年11月にふらの農業協同組合の中期計画が策定され、その中で平成31年度、32年度の組織再編計画が示されました。

農業者とは1月20日に農協協力会、肉牛振興会、酪農振興会それぞれの会長と打合せを行っています。

また、1月22日に占冠村での懇談会終了後、組合長ほか役員と懇談会の状況と占冠出張所の存続について協議を行っています。

占冠出張所存続の要望書を2月1日に農協本所、南富良野支

所に提出し、内容を説明しています。

問 占冠出張所の現況は、2月末で組合員20人、准組合員261人で、口座開設は958口座となっており、多くの村民が農協を利用しています。

近年新規就農者や農業後継者が増加傾向にあり、金融部門廃止は絶対に避けなければなりません。村長の考えを伺います。

中村村長 金融部門の廃止は村としても避けなければならぬと考えます。農協は指定代理機関として契約をしており、今後も強く存続を訴えていきます。

3 双民館の 除雪体制の確立

問 除雪が不十分なため駐車スペースが十分に確保されず、利用者には不便をかけています。除雪を地元住民に任せるなり、民間委託を導入して利用者の利便性を図るべきと考えますが伺います。

中村村長 利用状況を考えて管理人を常勤雇用していません。利用日に合わせて職員が除雪を行っています。月1回程度の利用頻度であることから、民

間に除雪業務を委託しなければならない状況にはないと考えています。



双民館の駐車スペース

問 利用日に合わせて職員が除雪に行くのは問題があります。職員体制が大変厳しい中、国の政策が変わるたびに仕事量が増えて大変な状況になっています。

双珠別地区の人材、機械を活用していくことを考えるべきだと思いますが伺います。

中村村長 次年度は地域おこし協力隊の人たちも事業をやりたいとのことで、除雪の回数も増えるので、民間、地域の方になるか業者に委託するか検討していきます。

医療・介護体制の確立を



木村一俊議員

1 これからの持続的な医療・介護体制の確立

問 4月からの診療所の医師については、いままで担当されていた先生は日高国保診療所で診療されることとなり、村ではペテランの内科専門の先生が診療に当たることとなりました。

指定管理制度を目指す村の方針は変わらないのですか。

中村村長 安定した医師の確保が最優先と判断し、指定管理者制度は必要な取組みと認識しています。

問 残念なことは、隣の日高町とともに土曜・日曜日は無医村となる状況は変わらないことです。対応をどのように考えていますか。

中村村長 土日は無医村になります。救急等で対応していきたいと思います。

問 地域に居住していたくことが採用条件でなかったのですか。

中村村長 在村をお願いしましたが、家庭の事情でやむを得ないと判断しました。

問 少しでも長くこの村で暮ら

し、診療を続けていただけのようにしなければならぬと思いますが、考えを伺います。

中村村長 地域医療の確保は行政の務めと考えています。医療機器の導入や人材の配置については配慮していきたいと思っています。

問 医療・介護の分野では人材不足が言われています。村においても対策が必要と思います。考えを伺います。

中村村長 資格取得者の採用や介護職員の研修について課題を整理し、社会福祉協議会とも連携を図りながら取り組みたいと思います。

2 人口に占める外国人の割合

問 人口に占める外国人の割合は占冠村が9.85%と全道一で、増加傾向はこれからも続くと思われれます。対応のための施策が急がれますが、村長の考え方を伺います。

中村村長 住民登録された時点で村の人となりますので、村民と同じようにされなければならぬと思っています。教育の面では生活・言語の違いから指導体制に苦慮していますが、就

学援助も含め、就学機会の提供に努めたいと考えます。

3 (株)星野リゾート・トマムとの合意書をめぐる係争

問 平成20年に(株)星野リゾート・トマムと村が交わした合意書は、平成24年9月30日を目途に村有施設の買い取りを約束したのですが、いまだ履行されず本年1月に調停が申し立てられました。

平成24年2月に村が受理した施設買取延期の依頼文への村の対応がどのようになされたのかをお聞きます。

中村村長 施設買取に関する(株)星野リゾート・トマムとの協議経過や内容については、全員協議会や議員打合せで説明してきました。

問 詳細な説明はいりませんが依頼文に対する村の決裁がどうであったかをお聞きます。

中村村長 決裁は(株)星野リゾート・トマムと協議をして内容を詰めたという意味です。

問 それ以降、両者は平成29年9月30日を目途に施設買取を延期するための合意書変更につい

て話し合ってきました。そして昨年末に話がまとまりかけた矢先に、中国企業による買収の報道があったわけです。

延滞期限まで残り1年半というところで、元の期限どおり買取をしていただかねばならないと話を戻して、調停を申立てることはおかしくないですか。

中村村長 村では新たな合意書締結に向け協議を重ねている最中、寝耳に水の報道に接し、任意の話し合いによる解決の域は超えたと判断し、調停を申立てました。

問 いま村の基幹産業が「観光」ということで、担い手である(株)星野リゾート・トマムとは強調・連携していかなければならないと思います。考えを伺います。

中村村長 まず調停を重点的に解決して新しい問題が出てくれば、その都度対応していきたいと思っています。

新しい肉牛振興策は



佐野一紀議員

1 新しい肉牛振興策は

問 黒毛和種繁殖経営安定化事業は平成27年度で終了します。本事業に替わる振興策は複数の選択肢の中から検討したいとのことでした。何を視点に考えるのか伺います。

中村村長 平成23年度から5年間、10戸合計77頭が導入され、総額287万5千円補助してきました。本事業の成果として、経営の安定化、競争力の強化が図られたと認識しています。

新たな補助制度は占冠酪農振興会、占冠肉牛振興会と協議し、黒毛和種のみでなく乳用牛も対象として、一頭当たりの補助上限額を見直し、予算規模を250万円としたことが、主な変更点であります。

事業制度は1年後に内容の見直しを行いたいと考えています。理由として、①新規就農を目指す方には、現在の肉牛市場の取引価格では優良繁殖牛導入に多額の費用がかかるため支援が必要であること②導入された産仔の取引価格は高値となっており、一定の成果が今後も期待できること③事業期間を長期とした場合、長期間の財政負担が

発生することなどです。

また、素牛の導入は大切ですが、品種改良、草地の更新、土地改良によって、良い草を取って良い牛を育てることが持続可能な経営に繋がるものと考えており、今回3年間250万の事業と品種改良で精液の補助を想定し、予算計上していますが、農家と十分話し合いながら内容を検討していきたいと思っています。

2 避難道路

問 所管事務調査報告の中で要望していたゲートボール場横から村道2号線を結ぶ避難道路は、千歳・本通地区住民の緊急性の高い道路であり、保安林解除、用地の設定、調査等を速やかに行う必要性があると考えます。

併せて浄水場管理業務、パークゴルフ場を利用する方の利便性から必要と思いますが考え方を伺います。

中村村長 所管事務調査結果については重く受け止めています。避難路の確保には大きな課題があり、村道2号線への改良には整備事項が多くあることから、必要な手続きについて関

係機関と協議を図り、実現できるように取り進めたいと考えています。



歩行者専用避難道路

3 双珠別の防災計画

問 双珠別地区は居住地が散在し高齢化が進んでいます。水害・雪害等に対応できる防災計画を策定してはどうか伺います。

中村村長 双珠別地区は中央から遠隔地であり、住宅等が点在し、高齢化が進んでいます。現在ある占冠地域防災計画に

記載されていると判断しており、防災予防で混乱なく安全に避難する避難誘導体制の整備、異常降雪、吹雪等、雪害が予想される場合は、関係機関と緊密な連携を取り、的確に必要な措

置を行うなど、災害応急対策では避難勧告、指示、避難準備情報周知の方法、的確に伝達できる方法、避難勧告、指示が夜間、停電時、風雨が激しい場合等、各家庭に対する周知が困難な時は個別に伝達するなど必要な措置を講ずるものとしています。

新たな防災計画は策定せず占冠地域防災計画を運用していきます。

4 むらびと交通の利用

問 住民の中に利用したいが付添者がいない要支援者がおられます。利用にあたって軽微な乗降介助等は可能ですか。

中村村長 村の地域交通は、一般健常者は村営バス、介助が必要な住民は社協が運営する過疎地有償運送、むらびと交通利用するには自分で用事を完結可能な高齢者と、陸運局の許可を受けており、基本的に乗降等自己完結できる方を対象にしていきます。

JA占冠出張所の閉鎖



長谷川耿聡議員

1 ふらの農業協同組 南富良野支所 占冠出張所の閉鎖

問 金融部門が平成30年に、生産資材部門は平成31年に閉鎖するということです。村の農業を持続するためには、重要な組織であると思います。

①組合員と協議しましたか。またその意向はどのようなことでしたか。

②閉鎖の影響をどのように考えていますか。

③閉鎖された場合、今後の農業振興をどのように進めていこうと考えていますか。

以上三点についておたずねします。

中村村長 1月20日に農協協力会、肉牛振興会、酪農振興会の各会長と打合せを行いました。が、存続を望む内容でした。

二点目については、かなりの影響が出ることを考えています。

三点目については、いままでも農協と連携して農業振興策を行ってきましたので、協議の際には存続を訴えていきたいと思っています。

問 農業関係者だけでなく、住

民も含めたオール占冠で閉鎖を反対してはいいかかと思っていますが、考えを伺います。

中村村長 村の代理指定金融機関でもあり、廃止に向けて反対していきます。

2 地域高規格道路のルート

問 旭川を起点に富良野を経由して、占冠村に至る120kmの地域高規格道路ですが、最近南富良野経由へのルート変更について新聞報道がありました。考え方を伺います。

中村村長 富良野市と村を結ぶジャンクションの位置は議会と協議してルート選定したいと思っています。国への要請は、旭川・十勝道路整備促進期成会の決定に基づき進めるべきと考えています。

問 ルート変更はトマム地域の住民には賛同・協調できる部分もあると思います。考えを伺います。

中村村長 議会と協議して期成会に申し上げていきたいと思っています。

3 星野リゾートトマムの施設

問 2月26日の第1回調停で、建物の買取り価格を985万814円とした理由は。

中村村長 取り壊した建物があり、1千万円より減額しました。

問 「村政執行方針」には（株）星野リゾート・トマムからの依頼で、買取用途を5年間延長する協議を続けていたと述べられています。平成29年までの延期協議中に調停を申し立てるのは不自然と考えますが。

中村村長 施設の買取り延期の協議中でしたが、中国系の企業に買収され、任意の話し合いは無理と判断し調停に至りました。

問 調停の交渉相手について伺います。

中村村長 当日は（株）星野リゾート・トマム側の代理人と（株）星野リゾートの役員の方が出席していました。

議会は、どなたでも気軽に傍聴する事が出来ます。

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター（役場庁舎）3階です。お気軽においでください。



今後の
予定

6月定例会→6月16日(木)・17日(金)

※いずれも午前10:00開会

※議事内容等により、日程が変更する場合がございます。

防災意識と対策



山本敬介議員

1 防災意識と対策

問 放射能対策を含む、地域の防災意識について伺います。

中村村長 村では避難者の受け入れや支援、村内4か所での放射線量測定を行っています。受入れの予算措置など、これまでどおり続け、防災意識の向上に努めます。

問 防災の情報伝達、原子力災害に対する村独自のマニュアルの検討、安定ヨウ素剤の備蓄について、進捗状況を伺います。

中村村長 マニュアルは必要だと思っています。安定ヨウ素剤は、副作用の問題もあり、購入に至っていません。

伝達方法は、現在は高齢者や独居の世帯には、村の担当、消防、社会福祉協議会で連携して対応しており、地域の方にもっと詳しい説明をしていきます。

2 ヘルメットの着用を

問 防災の基本は、まず自分の身を守ることです。ヘルメットの備蓄について伺います。

中村村長 20個備蓄しており、産業建設課職員は全員個人用のを所有しています。訓練に対する配慮が不足していたと反省しています。備蓄・資機材は計画的に準備するよう努めます。

3 歩く避難路の運用は

問 冬に運用できない避難路は意味がないと思います。今後の運用方法を伺います。

中村村長 冬期間の避難路の使用は想定していませんでしたが、消防等、関係機関のご意見も受けて検討します。

4 薪ストーブ設置助成金

問 薪ストーブと薪利用の助成金の実績を伺います。

中村村長 平成28年2月末現在の薪ストーブ購入と設置補助は2件で、内訳は1件目ストーブが20万7900円、設置費が22万5720円。もう1件は、ストーブが24万6240円、設置費が30万円です。また、薪の購入補助は、3件1万円です。

問 助成の要件は購入と設置それぞれ10万円以上、上限は購入が20万円、設置が30万円という

ことです。高額なストーブを買える富裕層のしか助成が受けられない、というのは問題があると思いますが考えを伺います。

5 再生可能エネルギーのマスタープランは

問 プロジェクトチームによる地域内のエネルギーマスタープランの進捗を伺います。

中村村長 湯の沢温泉の小水力発電について民間企業による可能性調査が必要と聞いています。また、平成26年度から北海道立総合研究機構と沿線5市町村による協定を締結し、広く地域に分散するエネルギー資源を活用することにより、地域の振興、活性化とエネルギー自給率の向上を目的とした取り組みも進められています。

6 コミュニティ・スクール

問 導入後の状況と、来年度導入予定のトママ小中学校、占冠中学校の方向性について伺います。

藤本教育長 中央小学校は平

成26年5月1日に学校運営協議会を設置して協議され、成果が出てきていると思います。このコミュニティ・スクールを充実させて、将来を支えていく人材の育成に繋げていきたいと考えています。

問 定住対策の遅れから、小中学校入学前にトママを離れるという方が増えています。コミュニティ・スクールの導入がこの危機的状況を救う一助になるように気概を持って進めてもらいたいと思いますが、伺います。

藤本教育長 統廃合については考えておりません。コミュニティ・スクールをなるべく早く立ちあげて、地域と学校そして住民の意見を聞きながら、今後の持続可能な教育に繋がっていきたいと思います。

問 学校は地域にとつてはインフラです。ガソリンスタンド、お店、学校、これらがないとトママの定住人口は増えません。その認識を新たにしたいです。また、再度伺います。

藤本教育長 基本的には継続して残していくための方向を模索するというところでご理解願います。

村有住宅の環境整備を



大谷元江議員

1 占冠地区村有住宅の環境整備

問 村有住宅周辺の環境が「ねずみ」等の発生で悪化しています。住む人はもちろんのことですが、村が管理する住宅です。で、しっかりとした環境整備を行うべきと考えますが伺います。

中村村長 地域住民にも迷惑でありますので、放置物の撤去、草刈り等の環境整備など、管理者として実効性のある取組みと強い姿勢で指導していきます。

2 地域カフェ・ぼっこてぶくろ

問 地域カフェとして村から補助金が投入されていると聞いていましたが、村とぼっこてぶくろの関わりを伺います。

中村村長 地域カフェ・ぼっこてぶくろは民間の集まりで、村とは直接の関係はありません。「村民食堂」についても同様で、地域カフェ運営委員会という民間の集まりとの話し合いで現在の利用形態になっているものと考えます。

問 インターネット等の利活用事業が地域カフェで行われていると思います。その活動が地域との話し合いもなく、占冠地域交流館に移動となるのはどういったことか伺います。

中村村長 平成25年度、26年度に村から占冠ふるさと活性化委員会への補助金を活用し、地域おこし協力隊が地域カフェを借りてインターネット事業を行っていました。地域おこし協力隊事業は平成26年度で終了しています。

まだ具体的にどのような形で整備していくか決まていませんので、方向性が出次第、地域の人

村有住宅周辺の環境整備



地域カフェ・ぼっこてぶくろ

にも説明して進めたいと考えています。

3 トmam小中学校の存続

問 学校は地域にとって核であり、交流の場であります。統廃合という言葉を使わずに、学校が存続するということは、集落対策にも繋がると考えますが伺います。

藤本教育長 質問された同様の観点からも、現状のトmam小中学校の統廃合については考えていません。

問 教育長から統廃合の考えはないとの回答をいただきましたが、村長も同じ考えであるか伺います。

中村村長 教育長と同じ考えで統廃合の考えはありません。

村政執行方針 (主な施策)

- ① 明日の村づくり
 - ・ 占冠村総合戦略基本目標の推進
 - ・ 移住・定住・交流人口拡大の促進
 - ② 活気ある産業をめざして
 - ・ 肉用牛資質改良増殖事業の創設
 - ・ 林業事業体への支援
 - ③ 交流の推進と施設活用
 - ・ サイクリンググツーリズムの推進
 - ④ 住みよい村づくり
 - ・ 千歳団地1棟4戸外壁改修工事の実施
 - ・ 利便性の高い効率的な地域公共交通の確保
 - ⑤ 安全で安心な暮らし
 - ・ 介護予防と日常生活支援総合事業の推進
 - ・ 夜間防災訓練の実施
 - ⑥ 行財政のすすめ
 - ・ 財政推計3カ年計画の策定
- 執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。

大谷元江議員

1 移住・定住

問 移住・定住、ちよつと暮らしのPRを推進し、交流人口の拡大を促進していくとありますが、住まわれる住居の準備がされているPRでしょうか。

中村村長 駅前の「楓」とトマムの「ヴィレッジ」の一部を確保していますので、そういったものを使って今年度は取り進めていきます。

問 使用される「楓」はワンルームであり、ご夫婦で使用する場合はかなり狭いと思いますが。

中村村長 受付の段階で部屋の状況を説明しています。

問 公営住宅に対しての入居条件の緩和で、料金設定の改定などの考えを伺います。

中村村長 公営住宅は所得等で入居の料金が決められています。村有住宅というのがありますので、開放できるものから開放していきます。

2 湯の沢温泉の改修

問 施設の老朽化対策において、雨漏りの改修のため一部張り替えを実施とありますが、老朽化ということではボイラー等の配管交換などの考えはありますか。

中村村長 ボイラーの配管はその都度整備しておりますので、いまのところ交換予定はありません。

3 母親への支援

問 児童福祉では子育て支援事業はもちろんですが、母親への施策は含められていますか。

中村村長 子育てには母親の教育も必要です。保健福祉センター等の場所を活用しながら母親への支援を引き続き行っていく予定です。

佐野一紀議員

1 畜産クラスター事業

問 この事業は生産コストの低減を図り、付加価値を高める事業の創出と理解しています。

関係機関と連携し、本村の酪農畜産体質の強化に努めるということですですが、内容について伺います。

中村村長 本事業はコスト低減を図るためのもので、施設整備、機械導入の事業です。

この計画を作る際には、農業改良普及センター等の行政指導も必要であり、資金計画等では農協の指導も仰ぎながら進めたいと考えています。

本村では機械の導入を計画、要望していきます。

2 一般廃棄物最終処分場

問 処分場は平成35年が限度となる中、ごみ減量化対策推進委員会、今後のごみ処理方法を検討していくとのことですが伺います。

中村村長 ごみ減量化対策推進委員会の中でコスト、設置場所、方法等を検討して結論を出したいと考えています。

3 防災対策

問 より充実した環境整備を進める中で、特にトイレについては体の不自由な方も利用されることを想定し、配慮したもので

なければと考えます。
また、設置は仮設のトイレなのか伺います。

中村村長 トイレに関しては、当面は簡易の方法で確保していきます。

また、障がいのある方に配慮したトイレにしたいと思っています。

4 エゾシカ対策

問 エゾシカ対策基本構想を踏まえ、各種取り組みをしてきま



モニタリング調査の様子

今年度はより先進的な対策を行っていくとのことですが、どのようなものか伺います。

中村村長 いままでいろいろなモニタリング調査をやっており、そこで得た課題から有害駆除と処理方法を組み合わせた効率的な捕獲を行いたいと考えています。

長谷川耿聰議員

1 リゾートとの協議

問 村有施設の買取り延期を(株)星野リゾート・トマムからお願いを受けて協議を進めることとしたという表現は公文書として残すべきでないと思いますが、見解を伺います。

中村村長 買取り延期願いとある文章が来ているので、このような表現になりました。

問 任意の協議を継続することが困難になったとありますが、どのようなことですか。

中村村長 交渉が続けてきた相手との信頼関係が崩れたこと、新オーナーとの責任関係も不透明なことから、調停を申し立てたという経過です。

2 私有林育成の支援

問 私有林の育成のためにどの程度の助成金を出すのですか。

中村村長 人工造林で自己負担は約6%です。より具体的な提案が森林組合からなされれば、もう少し山林経営に対して意欲も湧くと考えています。

不在地主対策としては、森林組合と連携して買えるところは村で買うように進めていきたいと思っています。

3 新公会計制度

問 新公会計制度について伺います。

中村村長 平成29年度から財政書類を公開するために導入される制度で、村が持っている山林原野、建物全部が全て複式簿記の対象となります。

4 トマム給油所

問 トマム給油所改修後の運営管理について伺います。

中村村長 運営母体に関しては、トマム地域内で組織され、または継続して運営可能と判断される団体を想定しています。



運営開始が望まれるトマム給油所

が、いまは具体化していません。管理は指定管理を考えています。

ので、応援要請することもあり、今後も今までどおり進めていきます。

負担軽減はどのくらい進んだのでしょうか。特に学校給食部門、消防部門の統一化、共有化が進んでいないと思います。副連合長の村長に、今後の方向性を伺います。

中村村長 学校給食など統一化されていないところもありますが、串内牧場、ごみ処理は、かなり負担軽減になっていると思います。消防は地賄い方式で、占冠は高速道路を抱えています。

3 TPPの影響

問 TPPについて「発効後の影響は計り知れない」とありますが、具体的に影響を予測して備えていただきたいと思っています。伺います。

中村村長 特に酪農は乳製品が輸入品目に入っているため、影響が懸念されます。経営基盤の安定が必要であり、対策を進めていきたいと思っています。

4 アンテナショップ

問 現在は民間企業の運営になっていると思いますが、具体的にどういったフォローをしていくのか伺います。

中村村長 イベント等に連携して取り組んでいきたいと思っています。また、民間の事業者と話をして聞いて対応したいと思っています。

山本敬介議員

1 富良野広域連合

問 当初の目的である効率化・

2 トマムの地域振興

問 住民活動の支援は大切ですが、コンビニや、新しい住宅建設など具体的な施策とセットでなければ、地域振興は進まない

5 物産館の方向性

問 1階利用者の募集をしています。行政の施策意図が見えませんが、以前私からも提案していますが、ゴミ減量化のための「くるくるマーケット」や、村内の起業サポートのためのミニオフィスなど、何か施策意図のある活用を考えて欲しいと思います。今後の方向性について伺います。

中村村長 物産館の入店者は、どういう職種でもいいとは考えていません。応募があった際にきちんと整理して進めたいと思っています。

6 児童福祉

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略に「若い世代の結婚、出産、子育て」があります。これは非常に重要な施策だと思うのですが、例えば、「森のようちえん」や「木育」のように具体的な施策が入ってこなければと思います。いかがでしょうか。

また、議会で視察に行った安平町では、教育委員会で保育部門も担っています。このことについて所感を伺います。

中村村長 児童福祉の具体策は、林業振興室でも考えています。他の部署と連携できる事業に取り組んでいきます。法律の一部改正により教育委員会とは今まで以上に連携を取っていきます。保育所を教育委員会の所管にという事ですが、今のところは考えていません。

五十嵐正雄議員

1 トマムのインフラ整備

問 地方創生の中で2040年における占冠村の人口を105

5人と目標を設定し、村づくりを進めることになっています。

そのためには何といつてもトマム地区における宅地分譲や住宅政策及び上下水道等のインフラ整備を早急に進め、観光施設で働く人たちをトマム地区に移住・定住してもらうことが必要であると思いますが、村長の考えを伺います。

中村村長 トマムの定住対策については、喫緊の課題であると考えております。地権者への呼びかけ、購入に関しての折衝を行ってきましたが進まない状況です。

働いている方々がトマムに住んでいただくことが大前提であり、インフラ整備を進めて、移住・定住対策を進めたいと考えています。

2 林業担い手の育成

問 林業政策は成果がすぐに出るものではありませんが、村はこの間、林業振興室を設置し、積極的に林業施策を推進してきました。

林業振興事業の受け皿となる事業体の育成や林業労働力（担い手）対策の取組みは喫緊の課題です。具体的な取組みや考え

を伺います。

中村村長 林業事業体の支援育成については、施策方針に記載されている事業を引き続き実施するとともに、森林組合の力を借りながら施策を進めます。また、村の取組みを理解してもらうために事業体との意見交換を行いながら、村の考えを伝え、関係機関の指導を仰ぎながら進めます。



木質バイオマス導入促進事業

3 地域交通の利便性

問 地域交通の中で、村長はより利便性の高い効率的な地域交通の確保に努めま

す。利便性が高いとは、住民にとって利便性が高いということか。また効率的とは事業投資した額に対して住民の乗車率とか、利用率の向上のことを考えているのか伺います。

中村村長 地域交通について、より利便性が高いというのは、住民の方々が使いやすいという意味です。効率的とは、せっかくある路線バス、巡回バス、むらびと交通の運行が上手く連携し合うような利用だと考えています。

工藤國忠議員

1 トマムの公園整備

問 上トマム地区公園整備事業とありますが、場所はどこなのか、規模と内容を伺います。

中村村長 今年度は造成ではなく設計を考えています。場所は今ある公園の一角を住民の意向を聞きながら公園の内容を作っていききたいと考えています。

2 トマム給油所

問 トマム給油所改修費とあり

ます。運営は指定管理で行うとのことですが、何月から工事を始め、使用開始時期が何月になるのか、また営業日の回数を伺います。

中村村長 年度内に売買契約を行い、地下タンクの点検等、必要な作業を行います。地下タンクを再整備しなければならぬことなどを想定しますと、今ここで即答できませんが新年度で営業にこぎつきたいと考えています。営業日は週3回程度を考えています。

木村一俊議員

1 串内草地の利用促進

問 富良野広域連合公共串内牧場の利用促進をどのように図りますか。

中村村長 人工授精の受胎率の向上を図り、利用増に繋がっていると考えています。

2 将来の人口推計

問 1055人とした占冠村人口ビジョンの推計は甘いのではないですか。

中村村長 アンケートからの希望出生率に基づき算出しました。

3 「参画」と「参加」

問 「参画」という文言は、占冠村むらびと条例検討委員会で「参加」を使用しようという議論になりましたが。

中村村長 公約ということでした使用しましたが、変えていきたいと考えています。

4 リゾートとの連携

問 「調停」係争中の星野リゾートとは連携関係が築けるのですか。

中村村長 調停のめどがた次第、定期協議を再開し連携を進めたいと考えています。

5 トマム商店誘致

問 ミナ・トマムは住民活動の支援とはなるが、移住・定住対策とはなりません。あくまでも商店誘致が望まれているのではないのでしょうか。

中村村長 お店等の誘致をしなければと考えています。



住民活動の場ミナ・トマム

6 林業の担い手対策

問 林業の担い手不足について、北海道も5地域に協議会を設けて対策を組むが、村の参加はありますか。

中村村長 北海道の指導を仰ぎながら森林組合とも連携し、

参加に手を上げる方向です。

7 社会資本整備

問 社会資本整備計画に基づく交付金活用を考えていますか。

産業建設課長 他の課と協議して住民生活に繋がる計画を作り、交付金を活用していきたいと思っています。

8 物件費の増

問 物件費の増加要因は。

中村村長 地域おこし協力隊の賃金増、燃料費等の増、電算システム委託料の増、指定管理制度導入によるものと思われます。

9 積立金

問 毎年の積立金の額が少ないが、基金を増やすための創意工夫は。

総務課長 交付税算定後、補

正予算で対応させていただきました。

10 リゾートとの協議

問 なぜ協議が困難になったのですか。

中村村長 今まで売却に向けた協議をしていましたが、突然株の売却ということで、村、住民にも不快感を招く行為だと思っております。

新しいオーナーがどういう考えをもって施設を処理しようとしているのか、全然わからないものですから、村の施設に関しては新しいオーナーに買取りを求めているという内容です。

問 一企業からのお願いで行政判断したという表現を公文書に残すべきでないと思いますが。

中村村長 村と（株）星野リゾート・トマムとは合意書を交わしており、その相手方ということで、同社からお願いを受けてという表現をしています。

教育行政執行方針 (主な施策)

- ① 学校教育の充実
 - ・ ICT 環境整備・校務情報ネットワークを活用した学校経営改善の推進
 - ・ 豊かな心・健やかな体の育成
 - ② 社会教育の充実
 - ・ 生き生きと学ぶ生涯学習の推進
 - ・ 芸術文化・スポーツの振興
- 執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。



大谷元江議員

1 キャリア教育

問 各学校にキャリア教育推進の指導とはどういうことですか。

藤本教育長 中学校では職業体験というものがありますが、小学生では実際している活動、消防とか、デイサービスなどを見るのがキャリア教育になると思います。



中央小学校の給食

2 学校給食の無料化

問 健やかな体の育成に関して、学校給食の無料化は考えていますか。

藤本教育長 現在のところは考えていません。

長谷川耿聰議員

1 執行方針全般

問 毎年内容が同じであることについて、教育長の見解をお聞きます。

藤本教育長 学習指導要領でしぼりはありませんが、今年の目標として書かせていただいています。

2 生涯学習環境の整備

問 技術を取得できる質の高い生涯学習環境の整備とはどんなものですか。

藤本教育長 公民館等を活用した中で、講師を呼んでお話し、説明をしていただいています。それをそれぞれの世代が、地域で活躍できる場を作るために役立てば良いなと考えて書かせていただきました。

3 社会施設の充実

問 社会施設の充実とはどんなものですか。

藤本教育長 大きな整備補修は終わっています。今後検討をしながら考えていきたいということで書かせていただきました。

山本敬介議員

1 執行方針の重点項目

問 執行方針の項目がほぼ毎年変わらないということですが、今年は何に重点を置くのか、明確にするのは教育行政として必要だと思います。

藤本教育長 コミュニティスクールの占冠中学校、トマム小中学校への導入やタブレット端末の全学校導入を調査研究しています。

2 リスクマネージメント

問 防犯、ネットトラブル、データ管理、プールの安全管理などを項目化してはいかがでしょうか。今年はいじめ問題だけしか

入っていません。これらについて伺います。

藤本教育長 リスクマネージメントが甘いのではということですが、教育委員会の内部で担当とは細かな打合せをしています。

3 教育行政の独立性

問 首長部局との連携強化をしていくということですが、教育行政の独立性の担保について伺います。

藤本教育長 総合教育会議は村長が招集しますが、必ずしも市町村長が言ったことに教育委員会が従うということにはなっておりません。

4 世代ごとの社会教育

問 社会教育分野には、青少年、若年、男性、女性、高齢者とそれぞれ項目があり、中期計画に基づいて、こと細かな事業が行われています。これらが明記されていないことについて伺います。

藤本教育長 現在は学校教育と社会教育、その中にも子どもからお年寄りまでを含めた中で書いています。決して、扱わな

いとか、考えていないということではありませんので、ご理解願います。

5 スポーツ振興

問 少子化と人口減少で団体スポーツが難しい状況になっています。トマムのバドミントンやクライミングなど、個人競技で当村の地域性に合ったスポーツを、指導者の育成やレベルアップの具体的な施策、基盤整備も含めてやっていく必要があると思いますが、伺います。

藤本教育長 中央小学校の土



土曜学習（卓球指導）

曜学習で卓球を実施しています。占冠中学校では卓球で全国大会まで行ったことがあり、OBの方が指導してくれています。少人数でもできるスポーツに取組んでいます。

6 保育所のあり方

問 教育行政が保育所も含めて、家庭教育から義務教育を一貫して担う事が必要ではないでしょうか。考えを伺います。

藤本教育長 現在も、保育所に英語指導助手が行ったり、公民館で読み聞かせを行ったり、家庭教育学級などがありますので、大いに協力していこうとは考えています。

7 教育行政の独自性

問 いまトマムでは、地域の教育が不安で転出してしまいう事態が起こっています。こういう時こそ教育行政として、ぜひうちの村で教育を受けてくださいといった強い姿勢が求められています。再度伺います。

藤本教育長 次年度に向けて、新年度の予算も含めた中で、執行方針に反映させていきたいと思っています。

五十嵐正雄議員

1 キャリア教育

問 子ども1人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育ててまいりますとあるが、子どもたちの多様性や個性を育てるのが大事だと思います。

指導要領の改悪により国家観が前面に押し出され、村教育委員会の主体性が発揮されていません。

子どもたちや保護者、地域の人たちが理解できる執行方針が必要と思いますが伺います。

藤本教育長 議員が懸念されている方向については全然思っていないです。

学習指導要領にはキャリア教育に関してはこういった文言を使っていますが、今後は文章表現については精査していきたいと思っています。

2 コミュニティスクール

問 中央小学校で取り組んだ成果と課題があると思いますが、一言も触れられていません。課題・問題点が議論されない

まま取り組まれることは問題があると考えますが考えを伺います。

藤本教育長 これまでやってきた実績、今後の課題はあります。中央小学校の保護者にはアンケートを行い、学校だより等に載せています。

このように親の評価、先生の評価も出ており、今後に向けた取組みに生かしていきます。



学校だより

木村一俊議員

1 行政との連携強化

問 昨年の法制度の変更によ

られているとありますが、連携がどのような点にみられ、またどのような効果が生まれているのかおたずねします。

藤本教育長 村長が総合教育

会議を設置して招集されたのは昨年12月でした。村長の教育長当時の思い等を含めた中の教育目標等々がありましたので、その中身の確認と、ここはこう変えたいいいのではないかと思います。このような協議を会議の中でしました。

教育についてのお互いの共通認識と理解を深めなさいという制度であると思いますので、学校の情勢とこれからの児童生徒のこと等々を含めた中で、村長部局と教育委員会とが考え方を共有できるように持っていければいいなと思っています。

予算特別委員会（木村一俊委員長）を3月16日に開催、活発な質疑が展開されました。その質疑の内容をお知らせします。

（傍聴者 0人）

一般会計

歳入

問 地方消費税交付金増額の理由は。（長谷川議員）

田中総務課長 昨年度は4月から8%が導入され9か月しか見込めませんでした。本年度は年間を通して見込めますので増額計上となります。

問 国保基盤安定国庫負担金・国保基盤安定道負担金増額の理由は。（長谷川議員）

小尾保健福祉課長 支援率の改正があり、それがアップしたことにあります。

問 雑入の後期高齢者歯科検診事業の内容は。（長谷川議員）

小尾保健福祉課長 高齢者の口腔歯科予防に努めるものです。

問 住宅管理費補助金、社会資本整備総合交付金の利用内容は。（長谷川議員）

岩谷産業建設課長 千歳団地1

棟4戸の外壁等補修工事です。

問 山村活性化支援対策交付金の事業内容は。（長谷川議員）

岩谷課長 カエデ樹液に係わる交付金です。3年間の継続事業で本年度は2年目となります。



カエデ樹液の煮詰め作業

問 環境保全型農業直接支援対策事業道補助金と機構集積支援事業補助金の事業内容は。（長谷川議員）

岩谷課長 減農薬に取り組んでいる農家に対する補助金と農地ナビシステムのデータ更新をし

ます。

問 いきいきふれあい推進事業の内容は。（長谷川議員）

佐々木企画担当係長 移住促進に係る占冠村のPR事業と道の駅で自転車を出して交流人口を広めるサイクルツーリズム推進事業です。

問 過疎対策事業債のトマム給油所の改修工事の内容は。（長谷川議員）

後藤商工観光担当主幹 計量器の交換、油面計設置等です。

問 間伐材売却収入の内容と事業体の指導について。（五十嵐議員）

岩谷課長 場所は鬼峠、ホロカトマム、中トマム、タンネナイで、面積は53・47ヘクタール、間伐方法は列条間伐です。事業体の育成については、現場に向いて施業方法等の指導を行っている、今後も同じような方法で育成に努めていきます。

問 学校教育推進事業委託金の内容は。（山本議員）

伊藤教育次長 子どもたちの社会性の育成や学力向上を目的に、土曜学習・ネットワーク授

業を実施しています。

問 学校支援地域本部事業費補助金の内容は。（山本議員）

伊藤次長 コミュニティ事業を進めておりますが、その有無に関係なく学校の授業に対する支援です。

問 農業振興基金繰入金の内容は。（山本議員）

田中課長 農業振興・新規就農等支援対策補助金、家畜診療所補助金、家畜導入資金貸付金、二ニウキャンプ場修繕・備品購入、自然活用村施設管理委託料等です。

問 環境保全と観光振興基金の



魚を育む事業

繰入金の内容は。（山本議員）

田中課長 環境保全は赤岩青巖峡環境整備事業とサケマスなど魚を育む事業で、観光振興は観光協会運営補助金です。

問 過疎対策事業債のトマム給油所改修工事の着手はいつ頃か。（工藤議員）

後藤主幹 タンク点検の結果により工事内容が変わるので明確な日程は明言できません。

歳出

〔議会費・総務費〕

問 新地方公会計制度導入委託料の内容は。（長谷川議員）

田中課長 財政書類等の公表が平成29年度に向けて義務付けられています。

問 財産管理費の一般備品購入費の内容は。（長谷川議員）

田中課長 村長車の購入です。

問 ミナ・トマム運営補助金の内容は。（長谷川議員）

佐々木係長 賃金、報償費、需用費、役務費、原材料、備品購入費です。

中村村長 この運営費補助は、トマム地区全体を活性化するため

め、集落で行っているもので、ひとつの区切りを3年間として実施するものです。

問 支所費の上トママ地区公園整備の内容は。(長谷川議員)

中村村長 地域から公園の要望があり、どういう公園にするのか青写真を作成するため、地元の人に納得していただけるような公園を継続して作っていきたいと思っています。

問 道の駅駐車場監視カメラ設置の内容は。(山本議員)

田中課長 生活情報センターの出入り口、コミプラ横の駐車場、道の駅トイレの駐車場に3台設置します。

問 東日本大震災避難者支援生活備品購入と防災備蓄用備品購入費の内容は。(山本議員)

田中課長 東日本大震災の避難者支援生活備品は洗濯機、冷蔵庫、テレビ、炊飯器、電子レンジ、電気ポット各2台です。防災備蓄用備品購入費は中学校にバツテリー2台設置し、その他マット、折り畳み式ベッド等を購入します。

問 議会費の共済費ですが、議会費に占める割合も大きく、共済制度については平成23年から無くなっていると思うが説明願いたい。(五十嵐議員)

田中課長 過去に加入していた議員がいて、その既得権分として何年間か支払い事務が生じているものです。

問 企画費の臨時雇上賃金の内容は。(五十嵐議員)

佐々木係長 バス運転手、地域生活相談員、地域おこし協力隊の賃金です。

問 企画費の修繕料の内容は。(大谷議員)

佐々木係長 車両、パソコン、地域情報化通信基盤、光ケーブルの修繕料です。

問 企画費の廃屋除去事業補助金について、どこを想定しているのか。(佐野議員)

佐々木係長 場所は決まっていますが、過去の実績により2件分を予算計上しています。

問 顧問弁護士の委託料が前年度と同額計上されているが、今年には調停があるので費用がかかるのでは。(木村議員)

堤副村長 通常の顧問料については、昨年と同額計上で、調停に係る委託料は成功報酬での予算措置となります。

〔民生費〕

問 児童総務費の備品購入費子育て支援の内容は。(大谷議員)

小尾課長 チャイルドシート2台分です。

〔衛生費・労働費〕

問 使用料及び賃借料で健康増進事業(温泉)の内容は。(山本議員)

小尾課長 温泉を利用したストレッチ教室に係わる施設使用料です。

問 ごみ減量化対策推進委員会委員報酬について、何人いて何をするのか。(大谷議員)

岩谷課長 15人で今後のごみ処理の検討をします。

〔農林業費〕

問 地域材活用促進事業の内容は。(五十嵐議員)

岩谷課長 縁台と看板を作成する予定です。

問 林業振興費の人工林・造林の新植の内容は。(五十嵐議員)

岩谷課長 村有林で立木地となっている箇所を植栽します。



豊かな森林

問 林業振興費の未来へつなぐ森づくり推進事業補助金の内容は。(大谷議員)

岩谷課長 造林で15ヘクタール分見込んでいます。

問 営農指導員賃金について、実績が上がっていない状況にあるのではないか。(山本議員)

岩谷課長 主に新規就農者対策の業務を行っており、平成28年度で就農を目指している方が1人おります。

問 木質バイオマスエネルギー導入促進事業補助金の内容は。(山本議員)

岩谷課長 薪ストーブ、薪ボイラーの購入・設置、薪購入の補助です。



薪ストーブ

問 村の木活用事業機器使用料の内容は。(長谷川議員)

岩谷課長 カエデの樹液採取に係る機器の使用料です。

問 林業振興費の地域おこし協力隊の業務内容は。(木村議員)

林業振興費の地域おこし協力隊の業務内容は。(木村議員)

監視カメラが設置される道の駅



中村村長 エゾシカ対策の猟区を今後どう運営していくのか検討を進めるための業務に携わって貰う予定です。

〔商工費〕

問 赤岩青巖峡環境整備委託料の内容は。(山本議員)

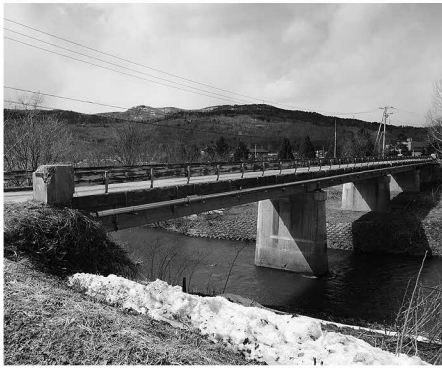
後藤主幹 トイレの設置、清掃、管理人の賃金等を観光協会に委託しています。

問 占冠村サイクリングツーリズム推進事業補助金の内容は。(長谷川議員)

後藤主幹 事務費等を補助するものです。

〔土木費〕

問 宮下橋補修工事について、工期はいつ頃になるか。工事中



完成が待たれる宮下橋

の通行は。水道管の補償費の内容は。(佐野議員)

〔岩谷課長〕

早期発注に努め、冬季前には完了します。時間的通行止めか夜間通行止めを検討しています。水道管は仮設配管をして利用者に支障のないようにします。

問 公共へリポート管理委託料について、廃止すると説明を受けているが時期は。(山本議員)

岩谷課長 平成28年度中に廃止に向けた手続きをします。



廃止が予定されるヘリポート

〔教育費〕

問 占冠村いじめ問題審議会委員報酬と、調査委員会委員報酬

の人数と開催について。(山本議員)

〔伊藤次長〕

問題審議会の委員は10人でいじめの予防を協議するもので、調査委員会は5人でいじめ等の事件が発生した際に調査するものです。

問 教育総務費、事務局費の臨時雇上賃金の内容は。(長谷川議員)

伊藤次長 英語指導助手の賃金です。

〔公債費・諸支出費・職員費・予備費〕

問 土地購入費の内容は。(山本議員)

田中課長 昨年設置した防災避難道路の一部が民有地で、建設時に借りていた用地を購入するものです。

特別会計

〔国民健康保険会計〕

問 療養給付費負担金について、前年度は補正で増額しているが、この予算額でよいか。(長谷川議員)

〔小尾課長〕

医療費の動向に合わせて各月の医療費の増減で補正額が出てくると予測されます。

〔村立診療所会計〕

問 トマム診療所諸検査収入について、通常診療収入と検査収入は比例すると思うがこれによいか。(長谷川議員)

〔小尾課長〕

昨年度は変則の勤務体制でしたが、新年度は占冠診療所の所長が診療に従事することになりますので、このような予算計上となりました。

議会事務局職員紹介

4月1日付けで事務局員が変わりました。事務局体制は次のとおりです。

事務局長 尾関 昌敏 主事 久保 璃華

よろしくお願いいたします。



議会の主なうごき

(平成27年12月議会定例会終了後から平成28年3月議会定例会まで)

- 12月18日 広報特別委員会 (各委員)
- 1月 5日 平成28年富良野広域連合占冠消防団出初式 (各議員)
- 9日 平成28年占冠村成人式 (正副議長)
- 12日 広報特別委員会 (各委員)
- 21日 広報特別委員会 (各委員)
- 28日 住民と議員の懇談会 (各議員)
- 29日 住民と議員の懇談会 (各議員)
- 31日 札幌占冠会定期総会・新年懇談会 (札幌市・議長他)
- 2月 5日 正副議長会議 (正副議長)
- 5日 中学生短期交換留学事業 (派遣) 報告会 (議長他)
- 12日 上川教育研修センター組合議会平成28年第1回定例会 (旭川市・議長)
- 15日 富良野地域人材開発センター連絡会議 (中富良野町・正副議長)
- 富良野沿線市町村長・正副議長議長合同会議 (中富良野町・正副議長)
- 18日 上川管内町村議会議長会定期総会・上川総合振興局幹部との行政懇談会 (旭川市・議長)
- 29日 総務産業常任委員会 (各委員)
- 3月 2日 議会運営委員会 (各委員)
- 6日 村民スキー大会 (各議員)

(富良野広域連合議会関係)

- 2月12日 富良野広域連合議会運営委員会 (富良野市・各委員)
- 19日 富良野広域連合議会第1回定例会 (富良野市・各議員)

編集 後記

本州からは梅から桜の花だ
よりと移ってきました。

占冠といえば「しばれ」も
「雪」も少ない冬が過ぎまし

た。夏の天候が心配される中での3月定例会
も終了しまして、平成28年度予算が承認され
ました。

「国」の政策に振り回されている「地方」
を強く実感し、『占冠の春は?』と先輩議員
の書いた言葉が気になるのですが、住民
に寄り添った予算が組まれたと考えています。
これからもリゾート施設等多くの問題を抱
えており、厳しい社会情勢ではありますが、
住民のみなさまからの声をいただき「村づく
り」に努力してまいります。

今後ともよろしくお願いいたします。

(大谷)

▼議会広報特別委員会 (前期)

委員長	木村 一 俊
副委員長	長谷川 耿 聡
委員	工 藤 國 忠
委員	大 谷 元 江

<< 議会広報や議事録全文は村ホームページでご覧になれます。 >>

発行：占冠村議会 責任者：相川 繁治 編集：議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184 URL <http://www.vill.shimukappu.lg.jp>